

報告者 住所 東京都豊島区西池袋3-29-9  
氏名 株式会社 エレベータシステムズ

## エレベーター戸開走行保護装置検査結果表

建物名				検査日	
製造番号		認定番号		検査実施者	-----
商品名		UCMP盤名			

### 仕様

巻上機の位置		巻上機型式			
積載量	kg (定員名)	ローピング		主索	
定格速度	m/min	出入口高さ		制御盤	
かご戸スイッチ		乗場戸スイッチ		バランス率	

### 検査記録

検査項目	かご制止距離測定				
検査方法	かご無負荷状態にし、最上階より手動運転にて500mm程度下降させ、自動運転へ切り替えレベリングさせる。特定距離スイッチがONした時(床前75mm)で遮断されかごが停止する。最上階床面とかご床面の段差距離を測定し75mmを引いた値を制動距離とする。				
判定基準	検査速度では制動距離150mm以下(年次変化量15mm以下)				
判定	良・否	検査速度	m/min		
		制動距離	mm		

注:制動距離を記入すること。測定距離ではありません。

検査項目	ブレーキ動作感知装置				
検査方法	目視・UCMP基板での接点信号入力確認。				
判定基準	外観・取付:破損・損傷など異常が無い事。チェックマークを確認し、取付に緩みが無い事。				
判定	良・否	備考			

検査項目	安全制御プログラム動作確認				
検査方法	救出運転中に乗場インターロックスイッチを手動で外す。(ドアゾーン外で行う)				
判定基準	乗場インターロックスイッチが外れた瞬間、かごは急停止し電動機用及びブレーキ用コンタクトが遮断されブザーが鳴動することを確認。				
判定	良・否	備考			

検査項目	かご戸ドアスイッチ				
検査方法	目視及び測定による確認				
判定基準	押し上げ量が5mm程度確保されている。ドア全閉前10~15mm以内でONすることを確認する。				
判定	良・否	型名	型		

検査項目	乗場戸スイッチ				
検査方法	目視及び測定による確認				
判定基準	戸閉時のフックのかかり代は7mm以上確保。接点が離れた時であってもフックのかかり代は3mm以上あることを確認する。				
判定	良・否	型名	型		

検査項目	かごエプロン				
検査方法	目視・触診・測定による確認				
判定基準	破損・変形していないか、過度の変形が無い事を確認する。長さが規定寸法又は寸法以上かを確認する。				
判定	良・否	備考			